**シンポジウム「困窮者支援の困窮者支援の困窮者支援の困窮者支援の現在・過去・未来」**

「いま居る場所を支援付きに」～地域包括ケアのなかの互助～

ふるさとの会の実践

　水田　恵

1. **ふるさとの会の成り立ち　高齢路上生活者への支援から**
2. **「四重苦」を抱える人の居住・生活支援から**

*認知症になっても，がんになっても，障害があっても，家族やお金がなくても，地域で孤立せず最期まで*

* **居住・生活支援の構造（「重ね餅」の型）**

（1）居住支援（サブリースまたは保証で空き家を活用）

（2）生活支援（家族そのものではない第三者による家族的支援）

（3）地域リハビリ（イベント，祭り，防災訓練等を通して互助づくり）

（4）在宅看取り（地域で孤立せず最期まで）

1. **生活支援を新しい「産業」に～生活支援労働による雇用創出**

（1）274人の「ソーシャルファーム」

（2）生活支援のケア研修

（3）生活困窮者自立支援法との連携

　　 一時生活支援の可能性

1. **多様な参加と自立の促進**

* **就労支援ホーム**

居住・生活支援を土台に多様な社会サービスへ

* **ワークステーションふるさと（仕事説明会）**
* **居場所づくり，仲間づくり，仕事づくり**

「支えられる人」が「支える人」に

1. **生活支援労働の人材育成**

* **ケア付き就労プログラム**

雇用に生活支援を入れて利用者122名を雇用

敷居は低いが奥が深い

居住・生活・就労の連携で「落ちない支援」

【参考】H23社会福祉推進事業「ケア付き就労利用者の意識とプロフィール調査」

「村の青年団」　イベント，祭り，防災訓練

* **キャリアアップ・ケア検定制度**

1. **まとめ**

困窮者支援の社会資源を地域福祉の社会資源に

家族と一緒に支える